

第1 交通安全思想の普及、向上

1 交通事故の発生状況

平成27年中の道内における交通事故状況は、死者数が177人と前年に比べ8人増加したものの発生件数11,123件(前年比-1,151件)、傷者数13,117人(前年比-1,454人)と10年連続で減少し、発生件数は昭和38年以降、傷者数は昭和41年以降で最も少なかった。

【方面別交通事故発生状況】

区分	発生件数		死者数		傷者数	
	平成27年	前年比	平成27年	前年比	平成27年	前年比
札幌方面	7,851	- 833	94	+ 12	9,216	- 970
函館方面	937	- 52	11	- 5	1,115	- 124
旭川方面	950	- 230	30	- 3	1,176	- 303
釧路方面	963	+ 36	29	± 0	1,102	+ 38
北見方面	422	- 72	13	+ 4	508	- 95
全道	11,123	- 1,151	177	+ 8	13,117	- 1,454

【交通死亡事故の主な特徴（死者177人中）】

- 人対車両の死者が多い。 58人 (32.8% 前年比 + 3人)
- 前方不注意による死者が多い。 49人 (27.7% 前年比 + 5人)
- 国道での死者が多い。 85人 (48.0% 前年比 + 22人)
- 高齢運転者によるものが多い。 51人 (28.8% 前年比 + 3人)
- 65歳以上の死者が多い。 96人 (54.2% 前年比 + 21人)

【交通事故死者のシートベルト着用状況】

自動車乗車中の死者93人中、シートベルト非着用者(運転者・同乗者)は36人(38.7%)となっている。このうち27人(75.0%)は、シートベルトを着用していれば助かった可能性が高いと見られている。

2 関係機関・団体等と連携した交通安全活動の推進

(1) 関係機関・団体等との連携強化

交通安全対策七者連絡会議との有機的連携の下、7大セーフティキャンペーンを軸とした通年運動、各期別運動等の積極的な取組み及び交通安全活動計画の調整、情報交換、広報資料の共同制作などを行うとともに、他の関係機関・団体等とも連携を密にして交通安全活動を推進した。

【交通安全対策七者連絡会議】

構成員	①北海道 ②北海道教育庁 ③北海道警察 ④札幌市 ⑤(公社)北海道交通安全推進委員会 ⑥(一財)北海道交通安全協会 ⑦(一社)北海道交通安全運転管理者協会
開催回数	各期交通安全運動推進会議及び各期別交通安全運動取組会議等 開催回数 16回

開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成27年春の交通安全運動重点・春の推進会議について(1/29) ○ 平成27年交通安全運動「春の推進会議」(2/10) ○ 平成27年新入学(園)の安全旬間の北海道要綱について(3/5) ○ 春の全国交通安全運動に伴う初日行事について(4/14) ○ 平成27年「安全・安心なまちづくり」道民の集いについて(5/1) ○ 春の全国交通安全運動の取組結果について(5/27) ○ 重大交通事故発生に伴う緊急対策について(6/11) ○ 平成27年夏・秋の交通安全運動初日行事について(6/24) ○ 夏の交通安全運動「飲酒運転根絶道民の集い」について(7/9) ○ 秋の全国交通安全運動「道民総決起大会」について(8/5) ○ 「秋の推進会議」(8/27) ○ 秋期対策について他(9/4) ○ 平成27年冬の交通安全運動ポスターについて(10/1) ○ 冬の交通安全運動セーフティコールについて(10/19) ○ 平成28年における交通安全運動の推進方針について(11/4) ○ 交通安全対策七者連絡会議全体会議(11/13)
------	---

(2) 市町村交通安全活動推進のための支援

季節に応じた交通事故防止対策等を掲載した機関紙「交通北海道」の発行、「交通ミニ統計」等の資料や交通安全情報の提供及び交通安全活動資器材の斡旋を通じ、地区安協が市町村と一体となって行う交通安全活動を支援した。

3 地域に根ざした交通安全活動の推進

(1) 交通安全運動における広報啓発活動の推進

ア 期別交通安全運動

関係機関・交通安全運動推進団体等と連携し、4期40日間の期別運動を道民多数の参加を得て実施した。

- 春の全国交通安全運動 5月11日(月)～20日(水)
- 夏の交通安全運動 7月11日(土)～20日(月)
- 秋の全国交通安全運動 9月21日(月)～30日(水)
- 冬の交通安全運動 11月11日(水)～20日(金)

イ 交通安全の日等の運動

地域・職域への周知と自主的な地域運動を支援するため、安全資器材・チラシ等を配布し、運動の盛り上げを図った。

- 道民交通安全の日 毎月15日
- 自転車安全日 毎月第1・3金曜日
- ゼロを目指す日 4月10日・9月30日
- 無事故の日 6月25日
- バイクの日 8月19日

ウ その他の交通安全活動

各期別運動等に連動した啓発活動に積極的に参加した。

- 新入学(園)期の安全旬間に伴う街頭啓発の実施 ～ 北陽小学校周辺 (4/6)
- 平成27年「安全安心なまちづくり」道民の集い ～ ホテルオークラ (5/11)
- 春の全国交通安全運動期間中街頭啓発 ～ 札幌駅南口ほか (5/12～20)
- 飲酒運転根絶街頭啓発 ～ 薄野地区 (5/13)
- 夏の交通安全運動初日行事「道民の集い」 ～ 赤レンガ前庭 (7/13)
- 夏の交通安全運動期間中街頭啓発 ～ 札幌駅南口ほか (7/11～30)
- 秋の全国交通安全運動「道民総決起大会」～ かでる2・7 (9/18)
- 秋の全国交通安全運動期間中街頭啓発 ～ 札幌駅南口ほか (9/24～30)
- 国道12号セーフティコール ～ 北1西3 (9/24)
- 飲酒運転根絶街頭啓発 ～ J R札幌駅前広場 (9/25)
- 交通事故ゼロを目指す日街頭啓発 ～ J A共済北海道周辺 (9/30)
- 飲酒運転根絶ハンドルキーパーグッズ寄贈式 ～ 麻生 (11/16)
- 冬の交通安全運動セーフティコール ～ 赤レンガ庁舎前 (11/11)
- 冬の交通安全運動期間中街頭啓発 ～ 札幌駅南口 (11/12～19)
- 飲酒運転根絶街頭啓発 ～ 薄野地区 (11/11)

エ 交通安全運動用資器材等の配布

各運動を効果的に推進するため、各種資料・資器材を配布した。

【各種資料・資器材の配布状況】

定期機関紙「交通北海道」	180,000 部
交通ミニ統計	4,500 部
シューライト等反射材	40,000 枚
交通安全ポスター・チラシ等	350,000 枚
啓発用ティッシュ・カットバン等	2,000 組
啓発用マスク・ティッシュセット	1,000 組
飲酒運転撲滅啓発うちわ	10,000 本
飲酒運転撲滅啓発チラシ	15,000 枚
改正道路交通法チラシ	15,000 枚
高齢歩行者事故防止啓発用チラシ	10,000 枚
各種交通安全のぼり旗	100 枚
交通安全旗(交通安全)	20 枚
交通安全三角旗(二輪車用)	1,000 本
各種夜光反射材	10,000 個

(2) 地域・職域における交通安全意識の高揚

ア 地域に密着した交通安全活動等に対する支援と広報

「地域に密着した交通安全活動」を実践強化するため、地域交通安全活動推進委員による違法駐車防止活動、自転車の正しい乗り方指導及び高齢者交通安全指導など

の活動を積極的に支援したほか、機関紙等にその活動状況を掲載した。

イ 企業等が実施する交通安全活動への支援

企業や事業所等が実施する交通安全大会、街頭啓発等の際し、各種機関紙、リーフレットの配布及びビデオを貸出すなど、交通安全活動への支援を図った。

また、主として賛助会員に加入している企業・団体への交通安全講話を行った。

【企業講習実施状況】

区 分	回 数	人 数
平成27年度	26	1,497
前年比	+ 6	+ 464

【企業等が行う交通安全活動の後援】

- 第15回北海道ママチャリ耐久リレー大会
(6/21 北海道自転車軽自動車商業協同組合)
- 第1回チャリティーコンサート カントリーヘイライド
(6/28 一般社団法人元気舎)
- 平成27年度 J A 共済小・中学校「交通安全ポスターコンクール」
(J A 共済連北海道)
- 「2015 北海道モーターサイクルショー」
(3/14・15 北海道二輪車商業協同組合)
- HBC「冬の準備はお早めに！交通安全キャンペーン」
(9/13 ~ 10/31 北海道放送)
- 冬期違法駐車撲滅キャンペーン2015
(1/1 ~ 3/31 読売新聞社)

ウ 広報媒体を活用した交通安全広報の実施

(ア) 民放ラジオ放送局と連携した交通安全キャンペーン

道内でリスナー人気の高いSTVラジオ放送の6時間生ワイド番組「どさんこラジオ」毎週月曜日の夕方時間帯に「セーフティ北海道」と題した交通安全コーナーを設けてスポンサーとなり、道警交通部幹部、道庁交通安全担当職員、当協会職員が出演し、タイムリーな情報提供とともに交通安全を訴えた。

また、春及び秋の全国交通安全運動期間中は、STVラジオのスポット放送、夏及び冬の交通安全運動期間中には、HBCラジオのスポット放送により交通事故防止を訴えたほか、STVラジオ中継車(ランラン号)、HBCラジオ中継車(トピッカー)による、夜間における交通事故防止広報と当協会のオリジナル反射材を配布した。

【どさんこラジオ「セーフティ北海道」放送状況】

- 毎週月曜日 夕方 5分間 48日間

【スポット放送状況】

- 春の全国交通安全運動期間中 5/11 ～ 5/20 25秒 80回 (STV)
- 夏の全国交通安全運動期間中 7/11 ～ 7/20 25秒 80回 (HBC)
- 秋の交通安全運動並び期間中 9/21 ～ 9/30 25秒 80回 (STV)
- 冬の交通安全運動並び期間中 11/11 ～ 11/20 25秒 80回 (HBC)

(イ) 大型ビジョンを活用した安全広報

札幌駅前地下歩行空間に設置されている大型ビジョン（2カ所）を活用し、春、夏、秋、冬の交通安全運動期間中、季節に応じたオリジナルの交通安全啓発用動画を放映し、通行者に交通安全を呼びかけた。

- 春、夏、秋、冬の交通安全運動期間中 計40日間 延べ400回放映

エ 民間の自主的な活動への支援

「安全・安心な地域社会」を実現するため、「交通安全は最も身近で重要なものである」との意識を高め、地域住民が自主的に参加する気運となるよう、ビデオ・DVD等の視聴覚器材の充実を図るとともに、内容をホームページに登載し、貸与、資料の供与などの支援に努めた。

【ビデオ・DVD保有・貸出状況】

区分	保有数	貸出数	
ビデオ	161本	355回	1本
DVD	153本		708本

オ 「チャレンジ・セーフティラリー北海道2015」の実施

道、道警察等と共催して、7月1日から10月31日までの4ヶ月間、無事故・無違反運転を競う、自主参加型安全活動「チャレンジ・セーフティラリー北海道2015」を実施した。（無事故・無違反達成率は94.4%であった。）

【参加者と非参加者との対比状況】

区分	対象者 (人)	交通事故 (件)	事故指数 (1万人当たり)	違反 (件)	違反指数 (100人当たり)
参加者	162,754	145	8.91	9,517	5.8
非参加者	3,225,250	3,538	10.97	173,481	5.4

4 高齢者の事故防止等年齢層に応じた対策の推進(7大キャンペーン)

(1) 高齢者交通事故防止対策の推進

ア 「光って安全！無事故3万人キャンペーン2015」の実施

高齢者の交通安全意識の高揚と交通事故被害を防止するため、地区安協、地域交通安全活動推進委員及び市町村の高齢者交通事故防止連絡協議会等の協力を得て、高齢者宅を訪問するなど、当協会考案の鞆・傘等に貼付する見舞金付き夜光反射材3万枚を制作・頒布し、うち5ヶ月間の期間中無事故を達成した応募者の中から、抽選で当選した100名に2千円相当の商品券を贈呈した。

※ 貼付者死亡による見舞金(5万円)は、旭川で発生した被害男性の家族に交付されている。

イ 「2015反射材フェア」の開催

夜間における歩行者や自転車利用者の交通事故防止に効果的な反射材を幅広い年齢層に普及し、その装着を呼びかけることを目的に「秋の全国交通安全運動」期間中の、9月25日(水)「札幌駅地下歩行空間広場」において反射材フェアを開催した。

ステージでは、弦楽四重奏による「ミニライブ」と夜光反射材を衣服・小物に付けた「ファッションショー」を実施、更に、会場前通路で夜光反射材グッズの展示・販売のほか、啓発品の配布等を通じて夜光反射材の普及に努めた。

ウ 高齢運転者の運転実技講習会の実施

日本自動車連盟（J A F）等と連携して高齢運転者を対象に、スピードの危険性、ブレーキ操作、スリップ防止、危険回避等を体験する運転実技講習会を実施した。

実施状況は、第2の3(1)のとおりである。

エ 歩行者教育システムによる安全教室の実施

道警察と連携して歩行者教育システムを活用し、各地の町内会、老人クラブを対象に道路横断時の危険疑似体験や安全確認等の安全教室を実施した。

【実施状況】

区 分	実 施	参加人員
札幌方面	4 回	475 人
他 方 面	0 回	0 人
合 計	4 回	475 人

(2) 若年運転者交通事故防止対策の推進

ア 若年運転者に対する交通安全活動への参加促進

若年運転者を対象とした交通事故防止啓発資料、ポスター、チラシ、リーフレット等を作成し、実技講習会や街頭啓発活動の際に配布した。

イ 参加・体験・実践型の講習会等の実施

若年運転者等を対象に四輪・二輪車安全運転講習会を開催したほか、シートベルト効果体験車、道警察保有の交通安全教育車を活用して、安全意識の高揚を図った。

(3) 子ども交通事故防止対策の推進

道警察、関係機関・団体等と連携し、園児・小学生を対象としたダミー人形を活用した交通事故実験会、歩行者教育システムによる道路横断時の自動車との関わりについての体験教育や地域における自転車教室での自転車シミュレーターによる参加・体験教育を実施した。

(4) 「幼児・高齢者交通安全教育指導者講習会」における研修

地域における交通安全に指導的立場で活動している交通指導員等を対象として、全日本交通安全協会が開催する「幼児・高齢者交通安全教育指導者講習会」に派遣して資質の向上を図った。

- 平成27年11月18日(水)～20日(金) 東京都「自動車会館」受講者2名

5 自転車利用者に対する安全教育の推進(7大キャンペーン)

(1) 自転車安全教育指導員講習会の開催

地域における自転車安全教育を推進するため、全道各地域の指導者及び今後指導者として活動する意欲のある者を対象に、自転車安全教育指導員講習会を開催した。

本講習会は、それぞれの地域における、自転車安全教育指導員を養成する一環として、自転車事故の現状と事故防止対策、自転車の正しい知識、安全指導・点検整備要領、自転車の正しい乗り方、自転車シミュレーターによる実技指導等の内容で実施した。

- 平成27年6月7日(日) 北海道交通安全協会自動車学園 受講者24名

(2) 子どもの自転車教室・自転車北海道大会等の開催

ア 子どもと保護者を対象にした自転車教室を開催し、小冊子「自転車安全教室」、「自転車安全教室修了証シール」、「自転車の交通安全ブック」及び自転車用夜光反射材等の啓発資器材を配付するなど、自転車の安全利用の向上に努めた。

【啓発資器材配布状況】

教育資料「自転車安全教室」	41,000 冊
教育資料「自転車安全教室修了証シール」	41,000 冊
教育資料「自転車の交通安全ブック」	24 冊
自転車広報・啓発用リーフレット	20,000 枚
自転車安全利用ポスター	1,800 枚
自転車用夜光反射材 (ホイールリフレクター)	500 個

イ 自転車安全教室の開催

地区安協、道警察等と連携し、各学校において自転車安全教室を開催した。

【教室の開催状況】

区分	札幌方面	函館方面	旭川方面	釧路方面	北見方面	合計
回数	541	256	259	207	92	1,355
人員	84,574	29,692	21,897	17,626	10,725	164,514

ウ 交通安全子供自転車北海道大会の開催

小学校高学年を対象に、交通ルールと自転車の安全な乗り方等のマナーを身につけることを目的に「第50回交通安全子供自転車北海道大会」を開催した。

- 日時 平成27年7月12日(日) 午前9時00分～午後3時00分
- 場所 札幌市西区八軒5条西6丁目 農試公園「ツインキャップ」
- 参加数 2小学校 3チーム 14人 (オープン参加を含む)

優勝は、滝上町立滝上小学校Aチームで、8月5日(水)に東京都内で開催された全国大会に出場した。

(3) 高齢者自転車事故防止講習会・自転車北海道大会等の開催

高齢者の自転車事故の防止を図るため、道警察・市区町村・関係団体・地区安協等と連携して、期別運動等に高齢者自転車事故防止講習会を開催したほか、「第7回交通安全高齢者北海道大会」を開催した。

- 日 時 平成27年9月9日(水) 午前9時00分～午後3時00分
- 場 所 札幌市西区八軒5条西6丁目 農試公園「ツィンキャップ」
- 参加数 65歳以上の高齢者9チーム 27人(男性26人、女性1人)

(4) 自転車安全整備制度(TSマーク)の普及・促進

安全に整備された自転車の利用と交通安全の啓発を図るため、自転車安全整備制度についてホームページや機関紙「交通北海道」で紹介、自転車の安全整備によるTSマークの普及を図った。

- 整備店新規登録数 2店
- TSマーク交付数(安協分) 2,750枚

6 シートベルト全席着用(7大キャンペーン)

各地の講習会、催事会場等において、シートベルト効果体験車を活用して、自動車衝突時の衝撃を疑似体験させることにより、安全確実なシートベルトの全席着用を周知した。

7 スピードダウン運動の推進(7大キャンペーン)

交通安全教室や各種催事会場において、高速走行の危険性等の交通安全啓発用ビデオの放映、交通事故パネル写真及びスピードに起因する重大交通事故のポスターの展示、資料の配付、視聴覚器材の活用により、走行速度がもたらす被害の重大性を道民に周知させるとともに、スピード抑制を啓発するため、各種チラシ・リーフレット・交通安全グッズの配布、ラジオ放送などによる交通安全広報を実施した。

8 飲酒運転根絶運動の推進(7大キャンペーン)

ハンドルキーパー運動推奨の広報・啓発活動、飲食店訪問など、道、道警察、関係機関・団体との連携の下、飲酒運転根絶キャンペーンを実施した。

また、酒酔い体験ゴーグルと反応低下測定器(クイックアーム)を活用し、飲酒運転の危険性について認識向上を図った。

- 飲酒運転の根絶啓発活動 うちわ 10,000枚、チラシ 15,000枚
- ハンドルキーパーの推奨 卓上サイン 1,500個、チラシ 3,000枚
バッジ 100個、キーホルダー 100個

9 居眠り運転防止活動の推進(7大キャンペーン)

正面衝突事故や車両単独事故の要因として、疲労からくる居眠り運転や覚低走行による可能性があることから、居眠り運転防止のぼり旗の掲出や、居眠り防止ガムなど啓発品を配布するなど広報啓発活動を行った。

10 デイ・ライト(昼間点灯)運動の推進(7大キャンペーン)

道警察、安全運転管理者協会、運輸業者等と連携し、地域・各事業所において広報活動を重点的に実施し、点灯率の向上を図った。

第2 優良な運転者の養成及び訓練

1 自動車学園における運転者教育の推進

(1) 安全で安心な交通社会を実現するための運転者の養成

ア 運転免許取得のための入園者状況

平成27年度から大型二輪免許教習の開始により二輪免許が大幅に増加したほか、普通一種免許、中型免許、大型一種免許及びけん引免許も増加した。

一方、普通二種免許、大型二種免許及び大型特殊免許は減少したものの、全体では前年と比較して127名増加した。

区 分	普通	普通二	中 型	大型一	大型二	大型特殊	けん引	二 輪	合 計
平成27年度	729	35	100	159	141	113	62	107	1,446
前年比	+ 47	- 19	+ 10	+ 21	- 4	- 5	+ 26	+ 51	+ 127

イ 卒業生に対する特別指導実施状況

春・秋の大型連休等事故多発期を重点にEメールやレター作戦を通じた特別指導を継続して行い、交通事故防止の呼びかけを行った。

区 分	電話指導	招致指導	Eメール	レター指導	合 計
平成27年度	939	667	9,394	1,059	12,059
前年比	- 774	+ 40	+ 415	+ 238	- 71

(2) 自動車教習所における地域の交通安全教育センターとしての活動

日曜の休校日を利用し、民間会社及び地域住民等を対象に交通安全教育を行った。

また、地域における交通安全活動に参加し、街頭啓発活動(4回・50人)、広報車による交通安全の呼びかけ(4回・50人)を行った。

区 分	交通安全講習会等		安全運転技能講習会		二輪車技能講習会	
	回 数	参加人数	回 数	参加人数	回 数	参加人数
平成27年度	2	31	3	52	1	14
前年比	+ 1	- 45	- 2	+ 38	± 0	- 3

(3) 若年運転者教育の推進

25歳未満の教習生に対して、教習時間外として1時限を充てる「若年者特別講座」を開設し、スピードの脅威、若年運転者の運転特性等をテーマに取り組み、安全運転意識の高揚に努めた。

また、シートベルト効果体験車を活用し、シートベルトの効用等を周知した。

(4) 高齢運転者教育の推進

平成27年12月、高齢者講習専門の施設として「交通安全教育センター」を開所し、受講希望者の待ち時間の短縮と利便性を図って高齢運転者の交通安全講習会を実施したところ、75歳未満及び75歳以上の受講者ともに増加した。

区 分	法 定 講 習		3号講習	合 計
	70～74歳	75歳以上		
平成27年度	740	1,074	0	1,814
前年比	+ 231	+ 371	± 0	+ 602

2 運転者支援局における効果的な運転者教育の推進

(1) 交通安全教育指針を活用した運転者教育の推進

交通安全教育を効果的かつ適切に行えるよう、「交通安全教育指針」を指導員等に徹底するとともに、各種講習会等における受講対象区分に応じた段階的、体系的な運転者教育を推進した。

(2) 法定講習内容の充実

違反者講習、停止処分者講習、更新時講習等の法定講習は、所定のカリキュラムに基づき実施したほか、北海道の交通事故実態に沿った内容の教本を作成して活用するなど、運転者の安全意識を高め、危険予知能力の向上を図るための講習内容の充実に努めた。

3 安全運転技能講習の実施

(1) 四輪車の安全運転技能講習の実施

日本自動車連盟（J A F）及び日本自動車工業会等と共催し、一般ドライバーを対象とした「セーフティ・トレーニング」を開催し、四輪車の安全運転に関する知識、危険予知能力と運転技術の向上を図った。

【運転技能講習実施状況】

実施月日	内 容	実 施 場 所	参加者数
6月28日(日)	セーフティ・トレーニング	函館中央自動車学校	3人
7月26日(日)	シニアドライバーズスクール	北見運転免許試験場	5人
1月31日(火)	冬道セーフティ・トレーニング	新千歳モーターランド	15人

(2) 二輪車の安全運転に関する知識、技能習得の促進

ア 二輪運転者教育の実施

一般ライダーを対象に、4月から9月までの間、札幌運転免許試験場で二輪車の安全運転の知識、技能の向上を図る安全運転講習会を実施した。

【運転技能講習実施状況】

区 分	回 数	受講者数
平成27年度	6	296
前年比	+ 1	+ 24

イ 二輪車安全運転北海道大会の開催

道警察、札幌地区二輪車安全普及協会の後援を得て、6月14日(日)札幌運転免許試験場特設コースにおいて「第48回二輪車安全運転北海道大会」を開催(参加者25名)した。各クラス部門別成績優秀者4名は、全国大会(鈴鹿市鈴鹿サーキット)に出場した。

第3 交通安全活動推進センター事業の積極的な推進

道路交通法第108条の31第1項により、公安委員会の指定を受けた機関として、同条第2項に掲げる事業等を積極的に実施した。

1 交通事故防止、適正な交通の方法等の広報事業

- (1) 交通安全意識を高揚して交通事故の防止を図るため、「ロードマップ（北海道版・札幌市内版）」、「癒やされぬ輪禍」、「交通を科学する」、「その悲劇まだ続けますか」等の資料を作成・配布し、交通安全の啓発に努めた。
- (2) 大規模道路工事、イベント等に係わる交通規制の広報代行業務を実施するに当たり、広報チラシの裏面を活用するなどして交通事故防止の広報に努めた。

2 交通規制等の広報代行業務

交通規制を伴うマラソン、大規模なイベントや交通規制を伴う道路工事等に関し、交通の安全と円滑を図る広報を徹底するため、事前広報の代行業務を受けて積極的な広報に努めた。

【代行業務実施状況】

区分	事業数	チラシ配布数	ポスター配布数	ダイレクトメール	看板等掲出数
平成27年度	12	403,260	1,875	7,952	120
前年比	- 1	+ 73,685	± 0	- 4,307	± 0

3 道路使用許可の調査事業

札幌市内及び旭川市内警察署の道路使用許可に関し、許可場所の道路又は交通状況の実態調査事業を実施した。

実施状況は、第4の4のとおりである。

4 交通事故相談事業

交通事故当事者、交通事故被害者等の相談に的確に対応するため、相談員に対する研修の参加など、資質と知識の向上に努めた。

相談取扱件数は、第7の2(3)のとおりである。

第4 委託事業の適正な実施

1 自動車保管場所調査及び同データ入力業務

自動車の保管場所申請に伴う現地調査・データ入力を適正に実施した。

【調査・入力実施状況】

区分	調査件数	データ入力件数
平成27年度	385,496	334,585
前年比	+ 6,192	- 6,386

2 更新時講習及び停止処分者等講習業務

免許更新申請者及び停止処分者等に対する講習を指定カリキュラムに基づき適正に実施した。

【更新時講習等実施状況（運転免許更新予定者等に対して行う講習）】

区 分		違 反	初 回	一 般	優 良	特 定	合 計
札幌 幌	平成27年度	84,701	27,795	85,298	216,955	77	414,826
	前年比	- 4,249	- 1,300	- 3,504	- 9,401	+ 19	- 18,435

【違反者講習実施状況（軽微な違反者に対して行う講習）】

区 分		社会参加を含む講習		社会参加を含まぬ講習		合 計	
		回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数
札幌 幌	平成27年度	137	1,902	141	834	278	2,736
	前年比	- 1	- 384	± 0	- 161	- 1	- 545

【停止処分者講習実施状況（運転免許停止処分者に対して行う講習）】

区 分		短 期	中 期	長 期	合 計
札幌 幌	平成27年度	5,487	843	482	6,812
	前年比	- 516	- 102	- 20	- 638

3 運転免許証更新情報提供及び高齢者講習情報提供業務

更新予定者及び高齢者講習対象者に対する情報提供業務を適正に実施した。

【運転免許証更新情報提供実施状況】

区 分		札幌方面		その他方面		合 計	
		発送件数	未着率	発送件数	未着率	発送件数	未着率
札幌 幌	平成27年度	498,066	3.3	333,887	3.0	831,953	3.1
	前年比	- 20,331	± 0.0	-16,368	- 0.3	- 36,699	- 0.1

【高齢者講習情報提供実施状況】

区 分	札幌方面	その他方面	合 計
	発送件数	発送件数	発送件数
平成27年度	76,379	64,693	141,072
前年比	+ 337	- 155	+ 182

4 道路使用許可調査業務

委託を受けた札幌・旭川市内における道路の工事状況について、適正に調査を実施した。

【道路調査実施状況】

区 分	札幌市内	旭川市内	合 計
平成27年度	8,248	1,859	10,107
前年比	+ 125	- 9	+ 116

5 地域交通安全活動推進委員講習等業務

公安委員会から委嘱された全道の各委員に対する効果的な講習会を開催するとともに、活動に必要な資料を提供した。

【研修会の開催及び会報紙の発行状況】

区 分	研 修 会		会 報	
	開催回数	参加者数	発行回数	発行部数
平成27年度	14	601	4	4,000
前年比	± 0	+ 28	± 0	± 0

【活動用資料等の作成・配布状況】

区 分	自転車事故 防止チラシ	高齢者事故 防止チラシ	違法駐車防 止チラシ	違法駐車防止 ステッカー	飲酒運転根絶 チラシ
平成27年度	99,000	99,000	99,000	33,000	99,000
前年比	± 0	± 0	± 0	± 0	± 0

6 原付講習業務

原付免許の取得希望者に対する講習を厳正・的確に実施した。

【原付講習業務実施状況】

区 分	回 数	人 員	
札幌	平成27年度	28	321
幌	前年比	+ 1	- 69

第5 交通安全功労者及び優良運転者等の表彰

1 全日本交通安全協会長等表彰

交通安全運動の中核として積極的に活動し、交通事故抑止に貢献した交通安全功労者等を上申した結果、次のとおり受賞した。

【交通栄誉賞（緑十字章）】

区 分	金 章	銀 章	銅 章
交通安全功労者	3	15	48
優良運転者	1	6	86
合 計	4	21	134

【交通安全優良団体等】

区 分	交通安全優良団体	交通安全優良学校	優良交通安全協会
受賞数	1 団体	1 校	3 協会

2 北海道警察本部長・北海道交通安全協会長連名表彰及び会長表彰

【交通安全運動の推進に貢献した交通安全功労者・団体、優良運転者等表彰状況】

区 分	功 労 者		寄 付	運 転 者		連名表彰		合 計
	個 人	団 体		20年	30年	功労者	運転者	
札幌方面	6	16	0	60	61	19	15	177
函館方面	4	0	0	18	24	4	5	55
旭川方面	3	0	0	19	24	9	10	65
釧路方面	1	2	0	16	4	4	10	37
北見方面	6	1	0	14	12	4	6	43
合 計	20	19	0	127	125	40	46	377

第6 運転免許証再交付申請者等のための事業

1 運転免許申請用写真の撮影

運転免許証の再交付申請・国外運転免許証申請者に対する利便性を図るため、デジタルプリントシステム（PC）により、写真撮影事業を効率的に実施した。

- 撮影件数 17,866 件（前年比 - 236 件）

2 運転免許証の郵送

優良運転者の運転免許証経由申請に伴う代理郵送を含め、交付される運転免許証を都合により受領できない申請者等からの依頼を受け、書留郵便での郵送事業を適正に実施した。

- 郵送件数 639 件（前年比 - 129 件）

第7 交通安全協会の活動基盤の強化

1 地区交通安全協会等の交通安全活動推進への支援

(1) 交通安全活動に対する支援

ア 地区交通安全協会が行う交通安全活動に対し、啓発用安全旗、のぼり旗、反射材等の配分及び交通安全運動事業費を助成したほか、啓発資料や交通安全情報の提供などを支援した。

イ 地区安協が主催する街頭啓発やパトライト作戦等に際し、警察署配置の車庫調査員を積極的に参加させるなど、一体的な活動を展開した。

(2) 地区交通安全協会への入会促進活動の強化

地区交通安全協会への入会促進を図るため、その一環として導入した「交通安全協力店割引制度」を充実させるとともに、ホームページやロードマップに協力店を登載宣伝するなど、あらゆる機会を捉えて積極的な入会促進活動を推進した。

(3) サービスコーナーにおける入会促進活動

運転免許試験場及び中央、厚別優良運転者更新センターのサービスコーナーにおいて、免許証の更新のために来場した利用者に対して積極的に声かけ案内を行い、好感の持たれる窓口対応を行うなど会員の確保に努めた。

また、新規の免許取得者に対し、試験場の免許証交付会場において地区交通安全協会の活動状況を説明し、会員の確保に努めた。

(4) 入会者に対する会員意識の醸成

個別番号付きの会員証や運転に役立つ道路マップの交付、無事故・無違反に対する各種表彰の実施及び交通に関する照会や交通事故など困りごとの電話相談への対応など、入会に伴うメリットを高めた。

2 交通事故等に係る被害者への支援

(1) 交通事故被害者の会への支援

交通事故被害者の会の自主的な活動を支援するため、運営資金の助成、事務室の提供等を行った。

(2) 交通事故被害者の会の活動

交通事故被害者の尊厳と権利、交通事故被害の根絶を求めて関係機関に要望するとともに、会報や「いのちのパネル」展示等による広報活動を行った。

また、免許停止処分者講習、地区交通安全協会主催の交通安全大会、中学・高校等における交通安全教室、一般向けの体験講話及び少年院等での矯正教育に講師として派遣した。

平成23年度からは、道警犯罪被害者支援室の事業「命の大切さを学ぶ教室」とも連携し、中学校での講話回数が増加した。

【交通事故被害者の会の活動状況】

会 員	総会	例会	会報発行	パネル展	講師派遣	フォーラム
120家族	1回	9回	年3回 5,400部	27会場(132日)	92回(16,412人)	1回(70人)

(3) 交通に関する困りごと相談、交通事故相談業務等の適正な推進

【交通事故相談所における相談取扱状況】

区 分	相談受理数			相 談 要 旨				
	電話	面接	合計	賠償責任	示談方法	過失割合	自賠償保険	その他
平成27年度	2	0	2	1	0	1	0	0
前年比	- 5	0	- 5	± 0	- 2	- 1	± 0	- 2